

第2回 横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	平成31年2月12日（火）午後2時から午後2時30分
開催場所	横浜市栄区民文化センター「リリース」 音楽ルーム
出席者	和田淳一郎委員長、小華和紘紀委員、瀬畑久美子委員、高田久美子委員、立木正子委員（5人）
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者0人）
議 題	1 委員会の公開について 2 評価結果について
決定事項	1 「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」第31条及び「横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会運営要綱」第9条に基づき、公開とした。 2 委員会としての評点は、事業目標「B」、運営目標「A」、管理目標「B」、収支目標「B」、その他目標「B」、総合評価「B」に決定した。 3 業務評価報告書に記載する内容を確認した。
議 事	<p>1 評価結果について</p> <p>事務局が各委員からの評価結果を説明し、次の審議の後、委員会としての評点が決定した。</p> <p>（和田委員長）</p> <p>評価基準としては、「業務水準・目標水準を達成できている」が「B」なので、基準を満たしている場合は「B」となる。「A」はあくまで「業務水準・目標水準を上回っている」場合となる。この基準を確認のうえ、判断したい。</p> <p>（和田委員長）</p> <p>事業目標については、目標水準通りということで「B」でどうか。 （→異議なし）</p> <p>（和田委員長）</p> <p>運営目標については、「A」評価をつけている委員が複数いるが、どのように考えるか。</p> <p>（小華和委員）</p> <p>評価をするうえで、他施設と比較も重要になるかと思う。運営面では他施設と比較しても際立った部分があると思う。</p> <p>（高田委員）</p> <p>運営面に関しては、目標水準を達成しているうえで、独自のサービスを実施するなど、他と比べて差別化しているところがある。そういったところを評価して「A」とした。</p> <p>（和田委員長）</p>

ワイヤーフックの事前取付サービスは評価できる点であると考えられる。その他目標で「A」評価としたが、運営面での評価として考えられるため、ここで「A」評価として考えても良い。他の委員の評価も含めて、運営目標の評価は「A」とするのはどうか。

(→異議なし)

(和田委員長)

管理目標については、気持ちよく快適過ごせるメンテナンスが基本的にはできているということで、目標水準通りの「B」でよいか。

(→異議なし)

(和田委員長)

収支目標については、「A」評価とした委員が2名、「B」評価とした委員が3名(立木委員)

目標水準自体が高く設定されているので、この水準を超えるのは難しいと思う。その中で、かなり細かい面でコスト削減の努力を行っていると感じたので、「A」評価とした。

(和田委員長)

コスト削減はどの施設も苦勞して取り組んでいる内容でもある。指定管理者制度の中でもどこも強いられていることでもあり、厳しいとは思いますが「B」評価でいかがか。

(→異議なし)

(和田委員長)

その他目標としては、ワイヤーフックの事前取付サービスの取組を評価して「A」評価としたが、運営面で評価できるので、ここでの評価は「B」でよいと考える。「B」評価とした委員が多いため、その他目標は「B」評価とするのでよいか。

(→異議なし)

(和田委員長)

事業目標「B」、運営目標「A」、管理目標「B」、収支目標「B」、その他目標「B」を踏まえ、総合評価は「B」とするがいかがか。

(→異議なし)

## 2 業務評価報告書について

事務局から平成29年度栄区民文化センター指定管理者業務評価報告書の案を説明し、事務局案を以下のとおり修正したうえで、栄区長に報告することとなった。

(和田委員長)

	<p>報告書の評価結果の総括だが、コスト削減を努力している点は本日の委員会で意見が出たことなので、加筆して欲しい。また、運営面では「A」評価を行っているので、良好な接遇マナーや職員の気持ちよい対応などについては、加筆して欲しい。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 第2回 横浜市栄区民文化センター指定管理者選定評価委員会 次第</p> <p>(2) 各委員評価一覧</p> <p>(3) 各委員評価コメント</p> <p>(4) 平成29年度 横浜市栄区民文化センター 指定管理者業務評価報告書(案)</p> <p>2 特記事項</p> <p>なし</p>